

ふしぎをしらべて万江川マップをつくろう

山江村立万江小学校 2年 嶋村 ゆあ

1 研究の目的

家や万江小学校の近くを流れている万江川にどんな生き物がいて、どんなふしぎがあるのかを知りたかったので、調べることにした。

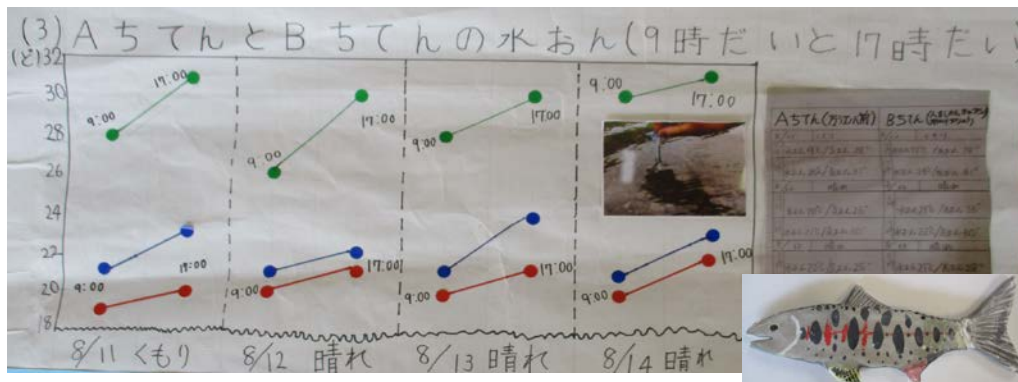
2 研究の方法と結果

(1) 2つの地点〈A地点：万江小学校前の万江川〉とそれより4kmほど下流の〈B地点：人吉市民グラウンド横の万江川〉で特徴を調べる。

地点	A（万江小学校前）	B（人吉市民グラウンド横）
川の様子	・手前の方はあさく、いわばがわはふかい。 ・ながれがはやいところと、ゆるやかなところがある。 ・木がたくさん生えているので日かげがある。 ・川あそびができる安ぜんな場しょがある。 ・石はコロコロしていて、かどが丸い。 ・日かげのところの岩はぬるぬるしていた。	・川ぜんたいが、ふかい。 ・ながれがはやい。 ・たす（+）という形のブロックがある。 ・あぶない場しょがたくさんある。 ・石はゴツゴツしていて、とがっていた。

(2) どんな生き物がいるのか、網ですくって記録する。

A地点にいた生き物	どちらにもいた生き物	B地点にいた生き物
トンボ、ヤゴ、タニシ、ヤマメ	カエル、ハヤ、カワムツ、サワガニ、ウグイ、アブラハヤ、オタマジャクシ	ドジョウ、カワエビ、カメ、アメンボ
A地点の草花		B地点の草花
セリ、タチモ、カンガレイ、エビモ、カワヂシャ		オオカナダモ



(3) 水温計と温度計を使って、水温と気温を測る。

(4) 万江川マップとヤマメの模型を作る。

3 研究のまとめ

(1) 同じ万江川でも、場所が違くと石の形や川の流れの様子が変わる。

(2) 万江川には、たくさんの生き物がいた。

(3) A地点の水温は、B地点の水温より低いことが分かった。

(4) 現物に触れることを通して気付いたことや、観察したことに興味・関心を持ち、万江川マップの制作やヤマメの工作につなげることができた。

